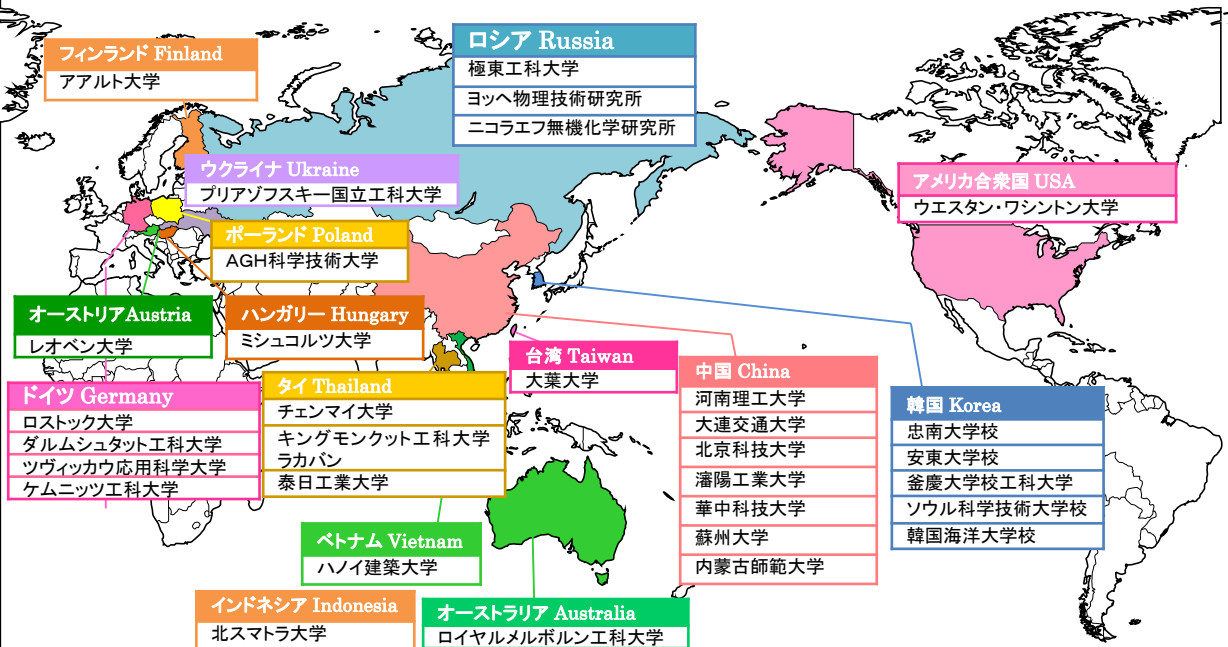


★工大から海外の大学へ★

提携を結んでいる各国の大学は、このようにたくさんあります！皆さんも留学を目指そう！！



留学生にインタビュー！

室蘭工業大学には、現在102名の外国人留学生があり、日本人学生と一緒に大学生活を送っています。留学生のことを知ってもらうために、インタビューを行いました。大学内で留学生に会った気軽に話しかけてみては？！

Faizul Nihar Muhammad Dzulkifli
マレーシア出身
機械航空創造系学科



①室工大が北海道にあって、寒いところというイメージを連想するから、行ってみたいと思ったから。マレーシアは四季がなく一年中暑いんです。
②実際に留学してみて、結構大変です！でも日本人たちと過ごして、日本語がだんだん上手くなるよ！時間の厳しさも感じる。授業も難しいけど、頑張ればなんとかなるよ！
③授業は忘れずに、やるべきことをやって、あきらめないで頑張ることだ。そして、せっかく日本にいるからいろいろ日本のことも学んで、日本中へ旅行に出てみよう！

Klyprayong Orrat
タイ出身
機械航空創造系学科



①私は2012年の春に、交換留学のプログラムで室工大に45日間来ました。このプログラムはとても短かったけど、とても良い経験になりました。日本人の学生に教えてもらいながら、他の留学生と日本語の授業を受けたり、研究室に配属されたり、ホームステイをしたりしました。工大で行ったところ全部が、出会った人みんなが私をとても感動させました。タイに戻った時、私はまた室工大に1年間留学するぞ、と決意していました。私の、一回目の留学生活と、2回目の留学生活は違いました。1回目の留学では日本語の講義や日本の文化を学ぶためでしたが、今回の留学では他の日本人学生と一緒に日本の教育や技術の勉強をしています。私は、日本の学生は時間や厳しいルールを守っていると思います。だから日本にいる間に、自分を改善しようとしています。これはとても良いことだと思います。私の学校生活は良い思い出と感動であふれています。私は毎日、新しいことを得られることにワクワクしています。
②室工大では、毎日大学で知識を得ることができるし、大学外でもたくさんのことを経験できます。国際交流センターはいつも留学生のための活動を考えてくれています。お祭りや、行事に参加したり、研修旅行があったり、たくさんのことを経験できます。日本に留学するのなら、室工大はとても良い大学だと、思います。

潮洛蒙
中国・内蒙古出身
創成機能工学専攻



①私は大学を卒業してさらに専門の知識を習得したいと考えました。日本は中国より進んでいる部分があるため、この先進的な環境の日本に留学することは私の夢の一つでした。そこで2010年1月に室蘭工業大学に来ました。
②3年間、授業や研究をしてきました。研究を進める環境はもちろんのことですが、先生の指導もとても良いと感じました。大学での生活は楽しく、国際交流センターの方がとても親切で、困ることはありませんでした。
③室工大を選んで良かったと思っています。高度な研究や生活ができる環境が整っている良い大学です。室工大は外国人留学生に対してサポートがしっかりしています。皆さん室工大で会いましょう。

Saerom Lee
韓国出身
情報電子工学系専攻



①大学の姉妹大学である室蘭工業大学に交換留学生として選ばれ、1年間留学をしたことがあります。その時、先生や友達などすばらしい方々に出会い、専門だけではなく社会的な経験からたくさんのことを学んだので大学院としてまた勉強をすることになりました。
②室蘭工業大学は他の日本の大学より、日本人との交流や国際交流に関する活動が多いと思います。その活動からたくさん外国人と交流し、自分の考えを広げることができました。また、工大の学生はほとんど留学生に対して暖かい心を持って接してくれると思います。
③どこであろうが留学ということとはとても大変な人生の勉強だと思います。その勉強を室蘭工業大学の暖かい日本人や外国人とともにやっていけるという喜びがきっとそのうち目に見えてくると思います。ここで人生の宝物を作ってください。

室蘭工業大学

国際交流センター News

第4号

From Center for International Relations
of Muroran Institute of Technology

発行元：国際交流センター
国際交流クラブ

Contents

- 海外語学研修.....P1
- 留学体験記.....P2
- 国際交流センター、国際交流クラブ紹介.....P3
- 留学生にインタビュー.....P4

オーストラリアRMIT語学研修

本学と学術交流協定を結んでいるオーストラリア・ロイヤルメルボルン工科大学（以下RMIT）と共同で実施する学生相互交流プログラムで毎年お互いの大学を訪問し語学研修と学生交流を行っています。

平成24年度は8月22日から9月7日の間、本学の学生10名が2名の引率教職員と共にメルボルンを訪れ、ホームステイをしながら、RMITで英語を学びながら学生達と交流を行いました。

英語研修のメインは、RMITで日本語を学ぶ学生と「ジャパン・クラブ」という日本に関心を持つ学生サークルの学生たちとの英語での交流で、メルボルン市内・郊外の見学にチューターとして付き添い、英語でのコミュニケーションの場と機会を提供してくれました。このことは、工大の学生たちに英語でコミュニケーションしなければならない状況を与え、さらに会話が成立したときの喜びを与えてくれました。

一方で、RMITの学生も日本語研修のため平成24年11月1日から12日までの間、学生7名と引率教員1名の合計8名が本学を訪れ、日本語研修を行いました。

日本語研修でも英語研修と同様に、本学の学生がチューターとしてRMITの学生をサポートし、日本語の講義や異文化体験の講義、室蘭周辺ツアーなど一緒に参加しました。

本プログラムは、毎年実施され、2013年度は英語研修（派遣）が8月、日本語研修（受入れ）は11月に実施の予定です。興味のある方は、P4の募集情報をチェックしていただくか、国際交流センターまでお問い合わせください。



MuroranIT and its partner university Royal Melbourne Institute of Technology (RMIT) exchanged their students through study tour programs. 10 MuroranIT students visited RMIT in September, 2012. In return, 7 RMIT students visited MuroranIT following month. Students from both institutes had great opportunities learning languages and exploring different cultures. Please visit Center for International Relations for further information.

ヨーロッパ語学研修

本学と学術交流協定を締結しているドイツ・ツヴィッカウ応用科学大学とケムニッツ工科大学の学生相互交流を含む短期語学研修プログラムが実施されました。

平成25年2月27日から3月18日の間で、本学からは学生13名、引率のドイツ語教を含む2名の合計15名が参加しました。本プログラムのメインは語学研修ですが、ヨーロッパに身を置くことによる異文化体験や現地学生とのコミュニケーションなどの場があり、学生が誰とでもコミュニケーションができるようになるスタート（きっかけ）となりました。

また、プログラムの中にはドイツのオーディ博物館やベルリン国会議事堂見学など多くのメニューが用意されています。

本プログラムは、3月上旬に実施予定です。興味のある方は、国際交流センターまでお問い合わせください。



～留学体験記～

オーストリア・レオベン大学にて
(平成25年8月まで留学予定)
機械航空創造系学科4年 佐々木 瞭

「地図でしか見たことないところで生活している人々と触れ合いたい、文化を体験したい」私の留学の志望理由はこういった単純なことでした。そして私は海外生活への門を叩きました。

私は現在、オーストリアのレオベン大学で留学生活をしており、今年の夏に帰国予定です。留学となると、海外インターンシップや語学研修とは異なり、1年留年することになります。しかし、友達ができたり、海外の授業を受講したり、あるいは言語の壁に苦しんだり、留学ならではの体験をしてきました。それらは留学のデメリットを補うに余りある価値があると私は感じています。

上に「海外生活への門を叩いた」と簡単に書きましたが、私自身相当悩みました。不安もありました。しかし、結果的にここに来てよかったと心から思います。留学に限らず海外に行くことを考えている、また悩んでいる人がいるのであれば、とにかく一歩踏み出してみましょう。違った形で日本や世界が見えてくるはずですよ。



A Message from University of Leoben, Austria

Ryo Sasaki
Mechanical, Aerospace and Materials Engineering

I applied to study abroad with a following simple reason: "I want to meet and interact with foreign people and experience different cultures which I have known only on maps." This simple idea brought me to Austria in October 2012. Since, I have been studying at University of Leoben and I will be back in Japan this summer. Unlike studying abroad for internship or other short-term student exchanges, I spend for a whole year for studying abroad. So far, I have experienced many things such as making friends, joining lectures and even causing some trouble because of my insufficient languages ability, which I could have not experienced from studying only within Japan. I know students may lose some opportunities while they are away from Japanese society for so long. Though I believe they could gain so much more from studying abroad experience.

Although I decided to study abroad with simple reason, I can think back that it was not an easy choice to make and I spent many uneasy days to make this dream come true. Now I feel that it was a right choice for me to come here. In conclusion, I would like to advice for students who are thinking or worried about studying abroad, "Please take your chance and give it a try! Then you will sure to find different view on Japan and the world that you have never seen before.

ドイツインターンシップーポツダムにてー
応用理化学系専攻修士課程1年 舛澤千尋



Internship Experience in Potsdam, Germany

Chihiro Masusawa
Master Candidate of Department of Applied Sciences

It is my pleasure to make a report on my internship experience in Germany with the program of IAESTE. As of my internship, I worked at the Leibniz Institute consisting of 200 workers. At first, I was worried about foreign language and different culture, but I met many kind people there. I had precious experience in Germany. There were 3 major reasons I decided to apply for the program. First, internship program provided living expense. Second, it took place during summer break so I did not need to take a temporary leave from the university. Third, it has been my dream to work in foreign countries.

I would like to conclude my report with a message "Get your dreams come true" wishing the reader to try to participate in those international internships. I believe it will give you an opportunity to have whole new experiences.

*IAESTE stands for the International Association for the Exchange of Students for Technical Experience.

私はIAESTE研修生としてドイツへ4か月間の研修に行ってきました。研修先はポツダムにあるライプニッツ研究所にお世話になりました。最初は言葉や文化の違いに戸惑いました。言葉が通じなかったり、15時には皆帰宅したりと日本では味わえないことでしたが、優しい人達に恵まれたのでとても貴重な経験をすることができました。

IAESTEに応募した理由は大きく3つあります。1つ目は給料が支給されるので現地での生活費を心配せずにすむこと。2つ目は夏期長期休暇を利用することで休学せずにすむこと。3つ目は海外で働くことは私の長年の夢だったからです。

大きな行動には大きな結果が伴います。苦しい思いもありますが、その分喜びも大きいです。異国で、異なる言語、日常、生活習慣を過ごしてみませんか？きっと素敵な経験になります。



公募情報

海外短期サマースクール 韓国語学研修(ソウル)

期間:平成25年8月上旬から中旬頃(約1週間)
研修先:ソウル科学技術大学
参加費:10万円以内(航空券、宿泊費込み)
研修内容:初級韓国語の講義、韓国文化の学習、ソウル市内見学
募集人数:3名程度
募集期間:平成25年5月末

韓国語学研修(釜山・慶州)

期間:平成25年8月下旬頃
研修先:釜慶大学校
参加費:10万円以内(航空券、宿泊費込み)
研修内容:韓国文化体験、韓国語クラス、釜山・慶州市内見学
募集人員:3名程度
募集期間:平成25年5月末頃

泰日工業大学サマースクール

期間:平成25年8月下旬頃(約10日間)
研修先:タイ・泰日工業大学
参加費:12万円程度(航空券、宿泊費込み)
研修内容:マングローブ保護実習、バンコク市内見学
募集人数:5名程度
募集期間:平成25年6月中旬頃

オーストラリア海外語学研修(メルボルン)

期間:平成25年9月頃(夏休み中)
研修先:ロイヤルメルボルン工科大学(RMIT)
(学術交流協定校)
参加費用:約30万円(航空券、宿泊費込み)
研修内容:現地学生との交流、バイリンガルキャンプ参加、グレートオーシャンロードツアー、RMIT英語授業参加
募集人員:10名程度
募集期間:平成25年7月頃

派遣留学生募集

期間:6か月以上1年以内
派遣先:本学の学術交流協定校
派遣身分:本学での身分は「留学」、派遣先大学では「聴講生」となる。
選抜方法:面接及びTOEIC等のスコア
その他:募集は年2回行っておりますので、掲示板等でお知らせします。

佐藤矩康博士記念奨学賞

国際活動を行う学生を支援するために設立された奨学賞です。
募集期間:平成25年10月頃
対象者:国際インターンシップ、国際学会等へ参加する学生
選抜方法:英語による面接試験を行って、受賞者を決定します。
賞金:渡航費として10万円
その他:受賞者は、帰国後に報告会を提出していただきます。

それぞれ開催時期が近くなりましたら、掲示板等でお知らせします。
興味のある方は、国際交流センターまでお問い合わせください。

国際交流センター紹介



室蘭工業大学では、留学生への支援を強化するために平成19年度に国際交流センターを設立しました。このセンターで留学生や、これから留学しようとしている日本人学生にどのような支援が行われているか紹介します。

★留学生向け★

- ・入学時・卒業時の手続き、査証・宿舍などの手配
- ・各種奨学金案内
- ・日本語教育、学習・生活相談について
- ・卒業、修了者との交流促進

★日本人学生向け★

- ・インターンシップ・国際活動支援
→佐藤矩康博士記念奨学賞:渡航費10万円
- ・短期交換留学支援
→本学奨学金:月額5万円
日本学生支援機構奨学金:月額6~10万円
- ・短期語学研修案内
→韓国、台湾、中国、タイ、オーストラリア
ヨーロッパ語学研修

海外で留学や短期研修などを考えている方は、まずは国際交流センターにご相談ください。また、留学生と交流がしたいという方もお問い合わせください。様々なイベントを行っており、交流するチャンスはたくさんあります。N棟2階非常階段から入ってすぐにあります。メールでのお問い合わせも受け付けています。

e-mailアドレス: kokusai@mmm.muroran-it.ac.jp

国際交流クラブ紹介★



〈はじめまして、国際交流クラブです!〉

国際交流クラブは、現在日本人学生と留学生合わせて50名以上いる大きなサークルです。学生の国際交流活動の窓口として多に活躍しています。

現在本学からの短期留学経験者、短期海外語学研修の参加者の半数近くがこの国際交流クラブの出身です。活動に参加することで国際的な視野を広げるきっかけを作ることができます。

活動内容は、定期的に交流会を行うことです。お互いの文化や言葉に触れていき、毎年行っている年間行事や、ただみんなで雑談、体育館で一緒にスポーツをするなど様々な活動を通して親睦を深めています。ここに書いていないことでも、アイデア次第で色々な活動ができるサークルです。実際、昨年度はそれぞれの国の料理を振る舞う料理会を開催することができました。他にも、本学に来学するインドネシアの高校生やRMIT(オーストラリア)の学生との交流会にも参加しています。

国際的な視野を広げたい人、留学に興味のある人、留学生と交流したい人は是非サークルの活動に遊びにきてください!

活動場所:N206(国際交流センター談話室)

連絡先:muroran-it.international@gmail.com

〈主な活動内容〉

- 4月 新入生歓迎会
- 5月 お花見パーティ
- 9月 工大祭
- 10月 ハロウィンパーティ
- 12月 クリスマスパーティ
- 1月 新年会
- 3月 追いコン
- 活動日:月2回程度